



Freehills

顧客情報

オーストラリア、アジア太平洋地域に拠点を置く国際的な法律事務所

業種

法務関連

IT環境

Freehills は、シドニーの 2 か所のデータセンターに 1,000 台の仮想デスクトップを配備しています。

課題

ユーザーの操作性を損なわず、システムとデータのセキュリティを維持しながら、重要な社内システムにリモートから柔軟にアクセスできるようにする。

ソリューション

McAfee® Management for Optimized Virtual Environments (MOVE) AntiVirus

導入結果

- パフォーマンスを低下させることなく、仮想デスクトップのセキュリティを実現
- セキュリティと生産性を損なわずに、インターネットに接続しているリモートのコンピューターからアクセス可能に
- 柔軟性のあるワークスタイル環境を提供することで、優秀な人材の確保と維持に貢献

パフォーマンスを妥協させずに 仮想デスクトップを保護する McAfee MOVE AntiVirus

Freehills は、オーストラリアの国際的な法律事務所、オーストラリアの上位 100 社に含まれる 75% 以上の会社にサービスを提供しています。また、世界中の一流企業にも優れた助言を行っています。法律事務所として国内の上位 6 社に入る Freehills は、200 を超えるパートナーと約 1,000 人の法律家を抱えており、オーストラリアと東南アジアの事務所にはほぼ同数のサポートスタッフが勤務しています。

事務所のスタッフに、会社支給のノート PC による VPN 経由、BlackBerry といったスマートフォン、Outlook Web Access など、様々な方法でのリモートアクセスが提供されていましたが、同社はよりよい選択肢を探していました。一方で、アプリケーションや端末の種類が増えたことで、使用要件も多岐にわたるため、セキュリティを低下させずに柔軟性を向上させることが IT 部門の課題でした。また、会社の事業継続性を維持することも目標の一つです。この目標を実現するには、危機的な状況が発生したときに、可能な限り速やかにシステムを復旧し、スタッフを仕事に復帰させる必要があります。

目標：リモートで作業を行うユーザーに可能な限り最適な環境を提供する

これらの要件を満たすため、Freehills の IT チームは、インターネットに接続しているコンピューターから会社のネットワークとコアアプリケーションにアクセス可能な仮想デスクトップのソリューションを探し始めました。このコンピューターはパソコンに限りません。Mac や iPad などのタブレット端末の場合もあります。Freehills のインフラマネージャの Simon Gaut 氏は次のように述べています。「私たちの目標は安全性と効率性を提供することです。特に、スタッフがリモートから問題なくアクセスできるようにしなければなりません。自宅でも移動中でも、事務所にいるときと同様の効率性を実現する必要があります。」

会社で業界最先端の仮想デスクトップインフラ (VDI) ソリューションを 2 つ試しましたが、仮想マシンに従来のエンドポイントセキュリティソフトウェアを配備すると、ホストデバイスの CPU とメモリーが大量に消費され、ユーザーの生産性が大幅に低下することが分かりました。「仮想デスクトップのユーザーのウイルス対策を導入しないという選択肢はありませんでした。会社のデスクトップで使用していた McAfee VirusScan® Enterprise のような高度なセキュリティ対策が必要でしたが、ユーザーの操作性を阻害することは避けなければなりません」と Gaut 氏は述べています。

解決策：仮想デスクトップ環境用に最適化されたセキュリティプラットフォーム

6 ヶ月間パイロット版を使用して詳細な検討を行った結果、Freehills は VDI として Citrix XenDesktop 5 を選択し、仮想デスクトップのマルウェア対策に McAfee Management for Optimized Virtual Environments (MOVE) AntiVirus を採用しました。McAfee MOVE プラットフォームは、仮想環境用に最適化された迅速なサービス指向のセキュリティを提供します。McAfee MOVE AntiVirus は、McAfee VirusScan Enterprise エンジンのアドオンコンポーネントで、仮想デスクトップ環境でのオンアクセススキャンと更新機能を実行するように最適化されています。これまでウイルス対策の配備で経験したインフラへの影響は大幅に軽減されます。

「簡単なテストを行った後ですぐに McAfee MOVE を本稼働環境に移行できました。結果には非常に満足しています。McAfee MOVE AntiVirus が使用率の高い CPU プロセスの上位 50 に入ることはありませんでした。CPU のパフォーマンスに対する影響は殆どありません」と Gaut 氏は述べています。

Citrix と McAfee のソリューションを広範囲に展開する前に、プロジェクトチームはこの技術の恩恵を最も受けるスタッフを特定するため、詳しい分析作業を行いました。最も恩恵を受ける利用者としては、次のような勤務形態であることが判明しました。

- 会社の事業継続性に直接関わっているスタッフ
- 出張の頻度が高いスタッフ
- VPN の使用頻度が高いスタッフ

パフォーマンスを低下することなく、リモートから社内文書を安全に利用

Citrix のデスクトップには、Microsoft Office や社内文書管理システムの Autonomy iManage など、コアとなるアプリケーションセットがインストールされています。会社の出勤管理システムである Expert や社内イントラネットも利用できます。ユーザーインターフェースは標準のデスクトップとまったく変わりません。Gaut 氏は次のように述べています。「スタッフはデスクトップの操作にすぐに慣れてしまいます。今では殆どのデバイスでいつでも仕事を行うことができます。これは、非常に柔軟な年中無休のソリューションです。」

現在、この法律事務所には、常時利用の Citrix ユーザーが 650 人以上在籍しています。また、通常、一週間にて、1,000 を超える個別のユーザーセッションが発生します。以前は会社支給のノート PC と VPN でのリモートアクセスを行っていた出張の多いメンバーやスタッフが最も恩恵を受けています。また、自然災害などで通常の業務を継続できない場合に備えて、パートナーや会社の事業継続性管理グループのスタッフは準備を進めています。たとえば、事務所にアクセスできない場合、Citrix と McAfee のソリューションを利用すると、数百台の仮想マシンを迅速に準備し、取り残されたスタッフをサポートすることができます。

顧客満足度

Freehills のユーザーはリモートから標準のデスクトップにアクセスできることを非常に喜んでいます。必要なアプリケーションにもリモートからすぐにアクセスできます。Gaut 氏は次のように述べています。「あるパートナーによると、Citrix と McAfee ソリューションの組み合わせが今までの中でベストな選択でした。受け取ったユーザーの喜ぶ顔が目に見えます。多くのスタッフは、自宅から Citrix にアクセスしても事務所内で操作しているときとほとんど変わらないと感じています。」

人材採用面におけるメリット

Freehills の若手の法律家は、Citrix と McAfee のソリューションから多くの恩恵を受けています。仮想デスクトップを導入する前は、会社のノート PC もまだ使用していなかったため、遅くまで事務所に残ることが多かったようです。今では、使い慣れたデスクトップにアクセスすれば、自宅のパソコンから柔軟にアクセスすることができます。

自宅で働くための機能は Freehills を差別化し、若い法律家を多く採用できるようになりました。「自宅で働く可能性があれば大きなセールスポイントになります。特に、仕事と遊びのバランスを求める人には大きなアピールとなります」と Gaut 氏は述べています。

携帯端末からの安全なサイト アクセス

Freehills では、Apple iPad や Android 端末など、タブレットやスマートフォンを購入するスタッフが増えています。ノート PC やデスクトップと同じレベルのセキュリティと制御を携帯端末にも提供するため、McAfee Enterprise Mobility Management (McAfee EMM™) は Freehills にとって最適なソリューションです。

Citrix Receiver がスタッフの iPad にインストールされているため、今までデバイスにあった会社のデータがなくても、Citrix と McAfee の環境にアクセスすることができます。

賞賛の声

「仮想デスクトップ環境のセキュリティ対策を探しているのであれば、McAfee MOVE がお勧めです。このソリューションにより、Freehills では仮想デスクトップを柔軟かつ安全に配備できました。エンドユーザーにとっても IT チームにとっても優れたソリューションです。使い始めてまだ時間は経っていませんが、仮想デスクトップはすでに大きな戦力になっています」と Gaut 氏は述べています。



マカフィー株式会社
www.mcafee.com/jp

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティ西20F
TEL 03-5428-1100(代) FAX 03-5428-1480
名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17
中外東京海上ビルディング3F
TEL 052-954-9551(代) FAX 052-954-9552
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2
近鉄堂島ビル18F
TEL 06-6344-1511(代) FAX 06-6344-1517
福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8
アクア博多5F
TEL 092-287-9674(代) FAX 092-287-9675

本資料は弊社の顧客に対する情報提供を目的としています。本書の内容は予告なしに変更される場合があります。本書は「現状のまま」提供するものであり、特定の状況あるいは環境に対する正確性および適合性を保証するものではありません。McAfee、McAfeeのロゴ、McAfee VirusScanおよびMcAfee EMMは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。本資料中のその他の登録商標および商標はそれぞれその所有者に帰属します。本資料に記載されている製品計画、仕様、製品情報は、情報提供を目的としたものであり、本資料の内容に対してマカフィーは如何なる保証も行いません。本資料の内容は予告なしに変更される場合があります。Copyright © 2012 McAfee, Inc. 40105cs_freehills_1211_fnl_ASD